

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「学力向上アクションプラン」（唐津市教育委員会推奨）に則った授業を繰り返し行うことで、授業の流れの型が教師も児童も身につけてきた。更に、授業の質を上げるために、「主体的・対話的で深い学び」を実現した授業を進めていく必要がある。 ・保護者アンケート等の結果を見ると、児童の「読書」「挨拶」「言葉遣い」が課題であるという意見が多かった。「心の土壌を豊かにする」「より良い関係をつくる」「相手を思いやる」児童を育てるための取組を今後も継続して行っていく必要がある。
2 学校教育目標	「つよく」「かしこく」「あたたかい」子どもの育成
3 本年度の重点目標	①「学力向上」→算数科を中心に、「授業が面白い」「次の授業が楽しみ」という状況を作り出すとともに、「主体的・対話的で深い学び」を実現した授業を展開しながら、学力向上を図る。 ②「心の教育」→「元気なあいさつ」「やさしい言葉」指導を徹底するとともに、授業や学校行事等を活用しながら、道徳教育や人権教育の充実を図る。

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・校内研修等でマイプランの活用方法を共有する場、達成状況を確認する場、課題点を共有する場を設け、取組の促進を図る。							学力向上対策コーディネーター
	○「主体的・対話的で深い学び」を実現した楽しい授業の実践	○授業に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童90%以上	・全学年、「学力向上アクションプラン」の学習の流れに沿った授業を徹底して行う。 ・算数科を中心に、児童が苦手意識をもっている場面を把握し、全職員が共通した改善策を取り入れながら授業を行う。							学習部
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童90%以上	・「自己肯定感の高まり→自他への思いやり」につながる年間を通じた人権集会を数回設定する。 ・道徳に関するアンケートを実施する。							道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等について、組織的な対応ができていると回答した教員100%	・毎月1回、いじめの早期発見につながるアンケートを実施する。 ・毎週1回、気になる児童の情報共有の時間を設定する。							生活部
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力しようとしたと回答した児童90%以上	・授業や学校行事等を通して、児童が夢や目標について自ら考える時間を設ける。 ・活動のふりかえり(「目標を達成するためにがんばったか」)の時間を設ける。							
●健康・体づくり	●安全に関する資質・能力の育成	●児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする	・各学級で、毎日下校する前に、交通事故に気をつける話をする。 ・低、中、高学年の実態に応じた、交通安全教室を開催する。							生活部
	○体力の向上	○運動に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした児童90%以上	・体育委員会によるチャレンジコーナーやジョギングタイム等を設定するとともに、「さがんキッズスポーツチャレンジ」を推奨する。 ・長縄や竹馬など、児童の活動意欲を高めるための場や道具を準備する。							保体部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・金曜日に定時退勤日を設定する。 ・月曜日～木曜日の最終勤務時間のめやすを示す。 ・内容を精選し、会議の回数や時間を減らす。							管理職
	○業務改善への意識の向上	○1年間で業務改善を3つ以上行う。	・学期に1回、一人一つ、業務改善案を考える場を設定する。							管理職
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
重点取組			中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○特別支援教育の充実	○教員の特別支援教育への意識の向上と支援のあり方の理解	○特別な支援が必要な児童への支援のあり方が理解できた、またはだいたい理解できた教員100%	・特別支援教育に関する研修会を実施する。 ・教育支援委員会を通して、情報共有を行う。							特別支援学級担任

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------